

市民と野党の共闘で都政の転換を

## 呼びかけ人会議 news no, 16

事務局：TEL・FAX 03-3943-6533

hp: <https://www.yobikakenintokyo.com/> e-mail: [yobikakenin.tokyo@gmail.com](mailto:yobikakenin.tokyo@gmail.com)すべての衆院小選挙区で市民と野党の共同選対が確立  
ひろがる宇都宮候補への支持の輪と共感

全都各地で宇都宮候補を迎えた街頭演説、プasterやのぼり旗をかかげての駅頭宣伝、法定1号ビラの配布、対話と支持拡大がとりくまれています。また、すべての衆院小選挙区で市民と野党の共同選対が確立し、各地で立憲民主党や日本共産党、社民党、新社会党、緑の党などの野党とさらには無所属の区市町村議員のみなさんと市民連合や地域の革新都政をつくる会などとの共闘が日に日におおきくひろがっています。

また、呼びかけ人会議内若手メンバーのSNSグループによるTwitter発信「あなたと変えるTokyo 2020」(下記)など青年にウイングをひろげるとりくみも急速にひろがっています。選挙戦はすでに期日前投票がはじまり、投票率も前回をおおきく上まわるものとなっています。宣伝、対話、支持拡大を一気に飛躍させ、宇都宮さんを都知事に押しあげましょう。今週が勝負です。

(Twitter アカウント [https://mobile.twitter.com/change\\_tokyo](https://mobile.twitter.com/change_tokyo))

都知事選の東京25区選対発足  
市民と立憲・共産・社民の3政党

都知事選に向け全9市町村の市民・政党・団体が連携し6月13日、《東京25区選対》の「都政を変えよう!西多摩・昭島市民の会」を立ち上げました。

13日の立ち上げ会議には市民はもちろんのこと、立憲・共産・社民の3政党も一つのチームにまとまることを前提に参加し、これは驚きであり喜びでもありました。2017年総選挙直前に発足した【東京25区市民連合連絡会】は、昨年5月より衆院選に向け各政党と「共闘・政策」について懇談を重ね市民と政党との距離を縮めてきましたが、未だ政党間の繋がりは乏しいといった状況だったからです。《選対》発足翌日、立憲25区総支部長から「立憲・共産・社民が同じテーブルにつくという歴史的な会議だったと思います。今後ともさらなる野党共闘のため頑張りましょう」とメールが届きました。都知事選をきっかけに東京25区は大きな発展を遂げました。ともに話し合い、一列に並び駅頭演説をするなどつい最近まで誰が想像したことでしょう。今一丸となって宇都宮都知事誕生の実現に向け頑張っています。山下千尋(東京革新懇ニュースから)



が小池知事に対して、「私、小金井市長自身が了解できない状況下での事業化は進めないよう求めます」と要望書(5月27日)を提出しています。この道路については、小池知事は前回知事選挙で計画の見直しと現地調査を約束していたにも関わらず約束を守らず、反故にした道路計画です。

**環境破壊の都市計画道路を視察**  
20日、宇都宮候補は多摩地域の街頭演説の合間をぬって、4年前の都知事選挙で小池知事が見直しと現地視察を約束した小金井市内の都市計画道路3・4・11号線の視察をおこないました。  
同道路は小金井市を南北に縦断する都道で、湧水で知られるはげ道(国分寺崖線)や野川公園を分断、武蔵野に残る貴重な自然を破壊するもので、「都市計画道路を考える小金井市民の会」や「はげの自然と文化をまもる会」などが反対運動にとり組み、地元小金井市長